



農委広報やまがた

(2024年)

令和6年1月

# 穂豊帆 21

第222号

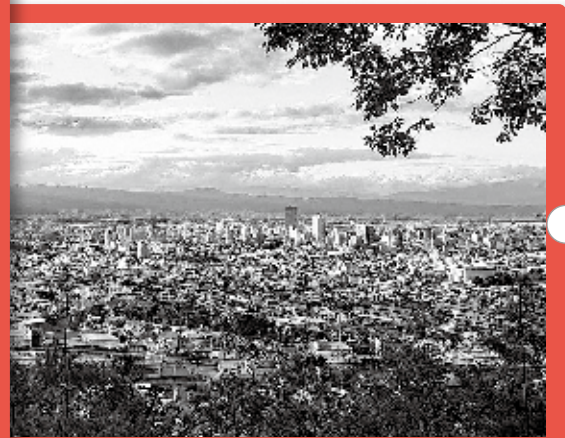
山形市農業委員会

〒990-8540  
山形市旅籠町二丁目3番25号  
TEL 023-641-1212 (内線773)

[ hohoho 21 ]



千歳山



千歳山から見た山形市街

山形市の自然景観のシンボル。登山道が整備され、多くの市民から親しまれています。中腹からは、山形市街が見渡せます。

## ～地域探訪 千歳山周辺～

千歳山の麓にあるこんにやく店。大きな玉こんにゃく、みそ田楽などが名物です。



玉こんにやく



千歳山こんにやく店

### ● 農業委員会の活動報告

- \* 年頭のご挨拶 ..... 2 P
- \* 山形市への農地利用最適化推進施策等に関する意見書の提出について ..... 2 P
- \* 山形県農業委員会大会 ..... 3 P
- \* 令和5年度食農交流事業 ..... 4～5 P

### ● 地域情報

- \* みんなの広場(前田 尚輝 さん) ..... 3 P

### ● お知らせ

- \* 農業者年金の6つの特徴とメリット ..... 6 P
- \* 許可等日程のお知らせ ..... 6 P



# 年頭のご挨拶



山形市農業委員会  
会長 高橋 徳郎  
たかはし とくお

新年あけましておめでとうござい  
ます。謹んで新年のお慶びを申し上げ  
ます。

また、旧年中は農業委員会活動や地  
域農業の振興と発展のため、ご理解と  
ご尽力を賜りましたことに敬意と感  
謝を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感  
染症が5類に移行され、コロナ禍前に  
戻るのはと思っておりましたが、国  
際紛争などによる食糧安全保障問題  
や、円安の影響を受け、生活必需品を  
はじめ燃料油を含めた農業生産資材  
など多品目にわたる価格高騰により、  
家計や農業経営に多大な影響を及ぼ  
しております。

また、農作物の生産では、これまで  
ない猛暑に見舞われ、米については一  
等米比率が最低水準となりましたが、  
山形市内では速報値で平年より八%

ほどの低下に留まり、米生産者の技術  
力の高さを示す結果ともなりました。  
しかし、果樹、野菜、畜産と多部門に影  
響が及び、まさに天候に翻弄された一  
年間でありました。

天候や国際情勢のみならず、農業を  
めぐる課題は山積しております。各地  
区で開催される農政懇談会などの  
皆様からの声を取りまとめ、国、県、市  
へ要望、要請活動を継続してまいりた  
いと思っております。

山形市農業委員会では今年目標  
として、令和7年3月までに策定する  
必要がある「地域計画」の基になる「目  
標地図」の素案作成を募開けに、各地区  
の皆さんと話し合いを重ね、年内には  
地域計画の概要をまとめられるよう山  
形市農政課と協調し活動してまいりま  
す。多くの地域の皆様の積極的なご参  
加とご協力をお願いいたします。

二〇二四年は「十千十二支」でいう  
と四一番目になり、「甲辰（きのえた  
つ）」です。「甲」は生命や物事の始まり  
を意味します。「辰」は、草木が伸長し  
形が整い、活気にあふれている様を表  
します。「甲」と「辰」が合わさる「甲辰」  
である今年は、これからの成長をさら  
に形作って行く年でもあります。

皆様にとつて、持てる力を存分に発  
揮して、飛躍する一年となるようご祈  
念申し上げますとともに、天に昇る龍  
のように勢いのある年になりますよ  
うご期待申し上げ、新年のご挨拶とさ  
せていただきます。



## 山形市への農地利用最適 化推進施策等に関する意 見書の提出について

令和5年10月24日、高橋徳郎会長を  
はじめとする農業委員代表が佐藤孝  
弘市長へ意見書を手渡し、その内容や  
農業現場の実情等について意見交換  
を行いました。

意見書の内容は次のとおりです。  
(紙面の都合上要約します)

### 1 農業資材、燃料油価格高騰への対策 について

(1) 山形市の支援の継続と、国や県  
に対して更なる支援拡充を要望  
すること。

### 2 鳥獣被害対策について

- (2) 生産コストを適切に転嫁できる  
適正価格形成の仕組みづくりを  
進めるよう国に要望すること。
- (3) 令和6年3月末までとなつてい  
る租税特別措置法の特例措置に  
ついて、期限を定めぬよう国に  
要望すること。
- (1) 従来までの対策に加え、鳥獣の  
生態を利用した新たな手法の導  
入など、積極的なICTの活用  
を推進すること。
- (2) 鳥獣被害対策実施隊の充実を図  
り、人材確保に努めること。
- (3) ニホンジカについて被害が大き  
くなる前に対策を講じること。

### 3 新規就農者の確保と担い手の育成 強化について

- (4) 令和6年度からの山形市農作物  
鳥獣被害防止計画は、積極的か  
つ具体的に実効性のある改正と  
すること。
- (1) 県内外からのＩターンやＵター  
ン希望者を対象とするなど、広  
い視野を持って積極的な人材の  
掘起こしをすること。
- (2) 新規就農相談者へのきめ細かな  
サポートや、独り立ちできるま  
での長期的支援を行うこと。

#### 4 農地改良に係る補助について

- (1) 山形市耕作放棄地解消支援事業制度の活用が促進されるよう広く農業関係者へ周知すること。
- (2) 耕作を断念し果樹の伐採を行う農地など、耕作放棄地になる前であっても補助の対象に加えること。

今後とも山形市農業委員会では、継続して山形市や県・国へ意見や要望を繋いでまいりますので、皆様の率直なご意見をお聞かせ願います。

(農政課題検討小委員会)

委員長 推名 俊明)



### 山形県農業委員会大会

山形県農業委員会大会が11月13日に寒河江市市民文化会館で開催され、農業委員、農地利用最適化推進委員42名が参加しました。

耕作者の多くが70代以上の高齢となり、若い耕作者の育成と、農法人などの担い手を支援して、農地保全する活動が喫緊の課題です。大会では、「やまがた」地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る活動』を推進するための申し合わせ決議」など、令和5年度山形県農業会議通常総会における申し合わせを確認し、

- 1 地域計画策定への協力と目標地区の素案作成に向けた取組みの強化
- 2 農業委員・農地利用最適化推進委員の日常的な活動を農地利用の最適化に繋げる取組みの強化
- 3 農業委員会の取組みと事務局体制の強化

の3点が大会で宣言されました。

いろいろなお取組みで農地を守り、農業者の活動を応援する重要性を痛感いたしました。今後、地域との連携を強くして業務を達成したい所存です。

(農業委員 佐藤 清)

## みんなの広場



### 新規就農2年目を振り返って

大郷地区 前田尚輝さん

私が農業を始めて、今一番実感していることは、人とのつながりがとても大切だということです。ゼロから農業を始めた私にとって、知識も乏しければ機械等もなく、周りの諸先輩方からのサポートがなければ農業を続けることは難しいことだったと感じています。

昨年は長ナスの植え付け本数を増やして、農業所得を増やすことが出来ました。自分ひとりでこなすことは出来なかつたと強く感じています。そんな時も知り合いの先輩農家の方より働き手を紹介していただいたり、ご自身も忙しい中、手伝っていただいたり、なんとか続けることが出来ました。また、栽培についても、定期的に畑まで来ていただき、実際に見て、実践しながらさまざまな知識を教えてくださいました。

ナスの栽培を振り返って、結果的には農業所得を増やすことが出来ました。栽培面に関してはやはりまだまだであったと実感しています。記録的な暑さによるところもありますが、ナスひとつひとつの品質は納得のいくものではありませんでした。枝の仕立て方や、防除、灌水のタイミングなど、まだまだ覚えていかなければならないことが多々あります。納得のいかなかった点については、しっかりと改善していき、品質の向上と、安定した生産方法の確立に向けて努力していきたくと考えています。

現在は、主にわさび菜などをハウス栽培し、冬季間の収入を得ています。今年は3年目ということで、栽培計画をしっかりと立てて、農業経営者として独立できるよう基盤を築きたいと考えています。諸先輩方からサポートしていただいたことへの感謝を忘れずに、昨年よりも安定した農業経営を営むことができるよう更なる知識を身につけ、実践してまいります。

旧市、飯塚、楳沢、  
滝山、東沢、南沼原

10月22日、第1ブロック食農交流事業で山形まるごと館「紅の蔵」とタイアップして「秋祭り」を開催して7年目となりました。開催日は、瀧山に初冠雪がありました。好天に恵まれ、新型コロナウイルス感染症が5類となったこともあり、前回を上回る多数の来場者と交流することができました。

第1ブロック農業委員・推進委員が食農交流事業のパンフレット配布及び自分で生産した野菜・果物・花苗などを、丁寧に参加者に説明して納得して笑顔で購入して頂きました。

恒例の空クジなしのビンゴゲームは、前回より1回多い4回にしました。小学生の親子さんに尋ねると、「毎年ビンゴゲームが楽しみに来ています」「野菜・果物など高いので、シャインマスカットが欲しい」と言っていました。お母さんが選んだのはお米でした。次の人がシャインマスカットを手にして大喜びをしていました。前回と比べると、食についての思いが変わってきたと思います。

地等・後継者不足問題などについて記入してもらい、150名分の返礼品(新米・雪若丸)も無くなり、用意した農産物も完売しました。

最後に、第1ブロック食農交流事業に来場された皆様及び協力を頂いた皆様に感謝申し上げます。

(農業委員 伊藤 博良)



南山形、蔵王、本沢

当3地区の食農交流事業は、10月7日に東北文教大学の地域交流イベント協賛事業として実施しました。地区内で生産された農産物(シャインマスカット・ピオーネ)の販売、市内の食材を使用した芋煮の販売、新米の消費拡大キャンペーンと農業に関するアンケート調査を行いました。

当日は肌寒い小雨模様でしたが、大学関係者や地元の方々など多くの方より参加していただき、天候の影響もあつてか大鍋2つ分の芋煮が、ア

食農交流事業アンケート結果

第1ブロック (回答者144人)

- 近年の世界情勢の変化により、ご家庭での農産物の消費量に変化はありましたか？
  - 変わらない…64%
  - 減った…23%
  - 増えた…13%
- 昨今の気象変化に伴い、全般的に農産物の価格が高騰していますが、最近の農産物の販売価格についてどう思いますか？
  - やや高い…47%
  - 高い…38%
  - 普通…12%
  - 安い…3%
- 農産物の供給や価格の安定に必要なことは何だと思いますか？(複数回答)
  - 国内食料自給率の向上…30%
  - 自然災害に強い農業の確立…25%
  - 国による価格安定化支援…15%
  - 食品産業における国産原料への切り替え…12%
  - 他産業からの農業参入…10%
  - 農薬や肥料等への国産原料の活用…8%

南山形・蔵王・本沢 (回答者100人)

- 農業の魅力や気になるワードは？(複数回答)
  - 収穫の喜び…20%
  - 農業収入…12%
  - 地産地消…12%
  - 自由な人間関係…11%
  - 仕事(時間)が自由…11%
  - 田舎暮らし…8%
  - スマート農業…6%
  - 有機農業…4%
  - 食糧生産による社会貢献…4%
  - 自然環境保全…4%
  - 6次産業化…3%
  - 無農薬栽培…2%
  - グリーンツーリズム…1%
  - その他…2%
- 「食の安全」の観点から不安に感じることは？
  - 食中毒…20%
  - 食品添加物…14%
  - 遺伝子組換え食…12%
  - 残留農薬…12%
  - 食品中の放射性物質…11%
  - 自給率…11%
  - アレルギー物質…9%
  - 食品表示の偽装…1%
  - 特に不安を感じない…10%

ツという間に完売。ぶどうも午前中で完売するなど大変な盛況でした。アンケート調査では、協力して下さいった方に、雪若丸300gパックを100個分配り回答を得ました。

アンケート結果を評してみると農業には関心が高いようですが、食料自給率にはあまり関心がないように見受けられ、また新規就農者への支援などの情報が知られていないことがわかり、今後これらのことを参考に考えていきたいと感じました。



今回の交流事業ではたくさんの方々とふれあうことができ、また農業への関心や考えを知るうえで大変意義ある交流会となりました。

(農業委員 今野 智夫)

## 大曾根、西山形、村木沢

西部三地区合同食農交流事業を11月25日、村木沢あじさい館で行いました。今回はみそ作り体験学習ということで、地元で長く醤油とみそを製造販売されている新関さとみさんからご指導していただきました。

小学四年生以上の児童と保護者13名の方から参加いただき、仕込み作業を体験してもらいました。今回は22割みそに挑戦しました。国産大豆500gを煮豆にしたものと、米こうじ1100g、塩250g、水を材料に、①米こうじと塩をよく混ぜ、②煮豆を拳と足でよく潰し、さらに①と②をよく混ぜてから、中に空気が残らないように樽に入れて重しをして完了となり、菌の発酵の力を借りて、7月上旬頃が完成となります。参加者は初挑戦の方ばかりでしたが、講師の説明と指導のおかげで、最後まで楽しく作業をしていました。

最後に、この事業を通して、農産物生産の大変さ、食の大切さを感じてもらえればと思っております。講師の新関さんに感謝申し上げます。

(農地利用最適化推進委員

渡邊 祐助)



## 大郷、明治、出羽、金井、千歳

当地区の食農交流事業は、11月11日に4年ぶりに開催されました。天候にも恵まれ大勢の皆様喜んでいただき

き大変うれしく思っております。地元の農業委員・推進委員が栽培した季節の野菜の販売。その中でも目玉商品はミニトマトの詰め放題。あつという間に完売となりました。

ポン菓子 は地元で収穫された「つや姫・雪若丸」を使って作り、機械の大きな音とともに、大勢の方の行列！大鍋で作った芋煮は、材料にこだわり、野菜はすべて地元産。150人分の芋煮を振る舞い、農産物の色々な質問、意見、要望を聞きながら、地域の皆様方と交流を行うことができました。

多くの地域の皆様から参加をいただき、これからも期待に応えられます様に委員一同頑張っていきたいと思っております。

(農業委員 丹野 菊男)

## 鈴川、楯山、高瀬、山寺

10月21日、令和5年度の山形市農畜産物フェスティバルは、「やまがた美味しいカーニバル」と銘打ってコロナ禍以前と同じ規模で開催されました。天候は曇り。雨も降ったり止んだりでしたが、大勢の方々に来ていただきました。

した。焼肉の試食、新そば、花、食肉、宮城県産の海産物などの販売もあり、充実した内容だったと思います。

第4ブロック食農交流事業では地元で採れた野菜、果物、手作りこんにやくなどを対面販売し、多くの方々に購入していただきました。青野こんにやくの試食には行列が出来るほど大盛況でした。こういった催しは、地元の良さを再認識するだけではなく、県内外の多くの方々にも山形市の食の素晴らしさを広める良い機会だと思えます。

来場者の中には若い家族連れの方も多く、山形市の美味しい食べ物を試食し、笑顔を見せるお子さんの顔が印象に残りました。次回は消費者の方々ともっと交流を深められるよう企画し、参加したいと思えます。

(農業委員 熊谷 智博)



# 老後の備えは国民年金 プラス 農業者年金 が基本です!

## ★農業者年金の6つの特徴とメリット

### 1. 農業者なら広く加入できます。

#### ①農業者年金の加入資格

- ・年間60日以上農業に従事
- ・国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)
- ・20歳以上65歳未満(60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者)

#### ②加入と脱退は任意です。

#### ③加入には2つの種類があります。(通常加入・政策支援加入)

#### ④国民年金(基礎年金)の付加年金への加入が必要です。



### 2. 少子高齢時代に強い「積立方式・確定拠出型」の年金です。

### 3. 通常加入の場合、保険料の額は自由に決められます。

月額2万円から6万7千円までの間で、千円単位で自由に選択でき、いつでも見直しできます。

### 4. 終身年金。80歳前に亡くなられても遺族の方に対しての死亡一時金があります。

### 5. 税制面で大きな優遇措置があります。

### 6. 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助(政策支援加入)があります。

最長20年間、保険料の国庫補助が受けられます。

パンフレットをご用意しております。詳しくは、農業委員会事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先：山形市農業委員会事務局 電話 023-641-1212(内線773)

## 令和6年度 山形市農業委員会 許可等日程

許可月	3条・4条・5条等の受付期間	総会開催日
4月	3月21日(木)～25日(月)	4月12日(金)
5月	4月22日(月)～25日(木)	5月13日(月)
6月	5月20日(月)～24日(金)	6月13日(木)

※農地法3条(農地に係る権利移動)、4条・5条(農地の転用)等の許可を受けるためには、上記の受付期間中に申請し、翌月13日頃開催の総会で許可・不許可の決定となります。

※許可申請には確認事項、必要書類がありますので事前にご相談ください。

お問い合わせ先：山形市農業委員会事務局(電話 023-641-1212 内線 775・776・916)

農委広報やまがた  
バックナンバーは  
こちらから



## 編集後記

今年のお正月、皆さんはお餅を食べましたか? 山形のお餅といえば、「納豆もち」が有名かと思いますが、長野出身の私が初めてこの「納豆もち」を知った時はとてもびっくりしました! でも、今は大好きなお餅のひとつです。私にとってお餅と言えば、大根おろしに醤油を垂らした「からみ餅」や、海苔を巻きたいそべ餅に、砂糖醤油をつけて食べる「いそべ砂糖醤油餅」(バターを少しのせるとなお美味しい)なのですが、地域によって様々なお餅があるのは面白いですね。今でも懐かしくなつて、食べる事があります。

子どもたちにとっては、山形のお餅が、我が家のお餅の味になっていくのでしようね。子どもたちもだんだん大きくなり、一人二人と巣立っていきました。いつか懐かしくその味を思い出してくれる様になつたら嬉しいですね。

(編集委員 富田 理恵子)